

CASBEE-広島（2010年ver.1）
広島桜が丘高等学校

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
			評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質							3.0		
Q1 室内環境				0.40			3.1		
1 音環境			2.8	0.15		-	2.8		
1.1 騒音			3.0	0.40		-			
1	暗騒音レベル		3.0	1.00		-			
	設備騒音対策			-		-			
1.2 遮音			2.6	0.40		-			
1	開口部遮音性能		3.0	0.30		-			
2	界壁遮音性能		3.0	0.30		-			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		2.0	0.20		-			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		2.0	0.20		-			
1.3 吸音			3.0	0.20		-			
2 温熱環境			2.6	0.35		-	2.6		
2.1 室温制御			3.0	0.50		-			
1	室温設定		3.0	0.60		-			
	室温変動の抑制対策			-		-			
3	外皮性能		3.0	0.40		-			
4	ゾーン別制御性			-		-			
	負荷・気象制御			-		-			
	個別制御			-		-			
	気調分と空調に依存する配慮			-		-			
	監視・調整			-		-			
2.2 湿度制御			1.0	0.20		-			
2.3 空調方式			3.0	0.30		-			
3 光・視環境			3.6	0.25		-	3.6		
3.1 屋光利用			4.6	0.30		-			
1	屋光率	屋光率は3.8となる	5.0	0.60		-			
2	方位別開口			-		-			
3	屋光利用設備	アトリウムホールにトップライトを設けて屋光を利用している	4.0	0.40		-			
3.2 グレア対策			4.0	0.30		-			
	眩回避策			-		-			
2	屋光制御	バルコニーによる庇とブラインドの設置によりグレアを制御している	4.0	1.00		-			
3.3 照度			2.0	0.15		-			
1	照度		2.0	1.00		-			
	照度基準			-		-			
3.4 照明制御			3.0	0.25		-			
4 空気質環境			3.7	0.25		-	3.7		
4.1 発生源対策			4.0	0.50		-			
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を全面的に使用している	4.0	1.00		-			
	放射能汚染			-		-			
	臭気汚染			-		-			
	カビ・真菌汚染			-		-			
4.2 換気			3.0	0.30		-			
1	換気量		3.0	0.33		-			
2	自然換気性能		3.0	0.33		-			
3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
	換気設備			-		-			
4.3 運用管理			4.0	0.20		-			
1	CO ₂ の監視		3.0	0.50		-			
2	喫煙の制御	全館禁煙としている	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.1		
1 機能性			3.0	0.40		-	3.0		
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-			
1	広さ・収納性			-		-			
2	高度情報通信設備対応			-		-			
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30		-			
1	広さ感・景観		3.0	0.50		-			
2	リフレッシュスペース			-		-			
3	内装計画		3.0	0.50		-			
1.3 維持管理			3.0	0.30		-			
1	維持管理に配慮した設計		3.0	1.00		-			
2	維持管理用機能の確保		-	-		-			
2 耐用性・信頼性			3.0	0.31		-	3.0		
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-			
1	耐震性		3.0	0.80		-			
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.3	0.29		-	3.3
	3.1 空間のゆとり			4.2	0.31		-	
	1	階高のゆとり	全ての階の階高を4.0m以上としている	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		仕様基準によるポイント値が160点以上である		4.0	0.30		-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.5	0.20		-	3.5
	2.1	自然エネルギーの直接利用	アトリウムホールの煙突効果を利用した換気を共用部分に採用している	4.0	0.50		-	
	2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化		全熱交換器を各居室に設置している ERR=10		4.2	0.30		-	4.2
4 効率的運用				3.0	0.20		-	3.0
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
	1.1	節水	衛生器具については節水型とし、擬音装置を設置している	4.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
	2	雑排水再利システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.63		-	3.4
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用	3.0	0.20		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	外壁・内壁に躯体+塗装仕上げやスチールパーティションを採用する	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.5	0.22		-	3.5
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	塗床材や床シートの接着剤等に有害物質を含まない材料を採用する	4.0	0.32		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68		-	
	1	消火剤	ハロン消火剤は設置しない	4.0	0.33		-	
	2	断熱材		3.0	0.33		-	
	3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		CO2の排出量が一般的な建物よりも少ない		3.7	0.33		-	3.7
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		-	-		-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.33		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33		-	2.7
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1	騒音		3.0	0.50		-	
	2	振動		-	-		-	
	3	悪臭		3.0	0.50		-	
	3.2	風害、日照阻害の抑制		2.3	0.40		-	
	1	風害の抑制		2.0	0.70		-	
	2	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	